

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	健康都市推進事業			会計	款	項目	大	小
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課				
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	矢口 道夫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	全市民、流山市全体	意図	保健・医療分野で個人ごとの健康推進を図ることはもとより、都市そのものを健康にすることで、そこに住む人々の健康で豊かな暮らしづくりを推進する。
事業内容	「都市そのものを健康にする」という健康都市の理念に基づき、健康都市事業を推進する。その結果、健康でいられる人が増加し、市民の健康増進が図られるとともに、流山市全体が住みやすいまちになる。また、WHO憲章に基づいて作成した健康都市プログラムの推進と進行管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成19年1月 市制40周年を記念し、WHO憲章を尊重した「健康都市宣言」を行った。「健康都市宣言」に基づき、平成20年7月健康都市プログラムを策定し、平成26年度にプログラムの見直しを図り、新たな健康都市プログラムを策定した。5本の施策の柱とリーディング事業に基づき、健康都市施策の推進を図る。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	心身ともに健康と感じている市民の割合	27.10	30.30	31.90	
②	流山が住み心地の良いまちと思う市民の割合	74.50	78.80	79.30	%	↑↑↑	まちづくり達成度アンケート そう思う、どちらかといえばそう思う人
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成24年度	平成25年度	平成26年度	事業について、計画全体の進捗状況と効果を明らかにし、その結果を施策の一層の充実のために活用していく。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,004,920	978,180	4,361,316	・健康都市連合日本支部大会へ参加し、全国の都市が行う先進的な健康施策を学ぶ。			
事業費(b)(円)			3,394,019	・また、職員のみならず、健康づくり推進員も大会への参加を通じて、各地の市民活動団体の方々と情報交換を図り、自らの健康への取り組みにも活かしていただく。			
うち一般財源			3,394,019				
職員給与と費(c)(円)	1,004,920	978,180	967,297				
人役・職員(人)	0.14	0.14	0.14				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	平成26年8月から日本支部長市となることから、事業等の参加が増える。	③取り組みの課題	健康都市の推進について、広く市民に周知し、事業を拡大していく方法を模索している。
②今年度(H26)に実施した取り組み	我孫子市で健康都市連合日本支部大に参加及び国際大会が香港で開催され、日本支部長として参加し、健康都市の推進について研究した。	④今後の改善計画	全市を挙げて健康都市の実現に向け、取り組んでいく。また、市民が取り組む健康づくりを応援していく